

令和7年度 第1回杵築市上下水道事業審議会

○日時 令和7年10月20日（月）13：30～16：00

○場所 杵築市役所 本庁舎 2階 大会議室

○出席者 (委員)

長崎会長、糸永副会長、神鳥委員、土谷委員、吉岩委員、佐々木委員

河野委員、是永委員、興田委員、中根委員

(事務局)

田邊上下水道課長、手嶋上水道管理係長、平田上水道工務係長、佐藤下水道管理係長、井上上水道管理係主査

○議題

1. 開 会

2. 委員自己紹介（資料1）

3. 会長及び副会長の選出について（資料1）

4. 諮 問（資料2）

5. 議 事

（1）会議の非公開について（資料3）

（2）杵築市水道事業の概要について（資料4）

（3）令和6年度水道事業の決算から見る公営企業会計と経営状況について（資料5）

（4）諮問事項 杵築市水道ビジョンの改定について（資料1、資料6）

（5）連絡事項

・今後のスケジュールについて（資料7）

（6）その他

6. 閉 会

○会議の内容

1. 開会

2. 上下水道課長挨拶 田邊上下水道課長

3. 自己紹介 上下水道事業審議会委員及び上下水道課職員

4. 会長、副会長選出 会長に長崎委員、副会長に糸永委員が選任された。

5. 会長あいさつ 長崎会長

6. 諮問 興田副市長から長崎会長に水道ビジョンの改定に関する諮問書が手渡される。

7. 議事 委員10名が出席しており、委員数の過半数に達していることから会議が成立している旨を事務局より報告。また、上下水道事業審議会条例に基づき、長崎会長が議事を進行。

8. 閉会

(事務局より議題に沿った説明があり、以下のとおり質疑応答となった)

【質疑応答】

1. 会議の非公開について

答申まで非公開とすることについて異議なし。

2. 杵築市水道事業の概要について

○委員 大田地域の保水地区以外の水道供給はどうしているのか？

大田庁舎は上水道ではないのか？

○事務局 大田地域の給水区域は保水地区のみのため、大田庁舎は給水区域外である。

給水区域外の世帯は、各戸が井戸を掘削したり、小規模な水道組合を組織したりして独自に水源を確保している。

○委員 杵築浄水場の更新工事の完了予定時期は？

○事務局 令和8年度に完成予定。

○委員 6ページの水道事業の課題の4番に浄水場の更新に伴う事業経営の悪化という記載について、ライフラインを守るため、浄水場更新していくのにこれで事業経営の悪化と言っていいのかどうか。ちょっとこれを資料として出すのであれば、特に杵築地域の水道供給にかかわるところなのでどうなのか？

○事務局 コスト増が財務に与える影響を端的に示す意図であった。

必要な事業であり、「事業費用の増加」へ修正する。

3. 令和6年度水道事業の決算から見る公営企業会計と経営状況について

○委員 計画中止になった浄水場建設予定の土地はどうなっているのか？

売却や市で有効活用はできないのか？

○事務局 建設予定地は水道事業で保有している。

企業誘致担当、財政担当など関係課と連携して、売却先を模索している状況。

○委員 起債の償還年限は？実際は償還しなくても問題ないのでは？

○事務局 償還年限は耐用年数が長いものは30年で償還しており、償還は必要。

○委員 留保資金の残高は？

○事務局 約4億円で横ばいしている。

○委員 中小企業が倒産するみたいに借入れが多くなりすぎて返せないといったことが起きた場合は、水道事業はどうなるのか？

○事務局 水道事業は倒産にならないように料金を改定していくのが経営方針になります。

○委員 供給単価が全く見合っていない。原価割れを常に行っている状態は民間だと普通ありえない。

○事務局 料金回収率は85.1%。100%に満たない残りの部分は一般会計の補助金などで賄っている状態。

○委員 今、杵築市は水道料金が県で2番目に高いが杵築市より安い水道料金のところはどやって経営している？一般会計からの補助金がとにかく多いのか？

○事務局 県内のデータを見ると、半分は原価割れである。杵築市よりも料金回収率が悪い水道事業の市もある。ただそれでも経営が回っているということは、一般会計の繰入などがあると思われる。現在、赤字である簡易水道事業を統合し、独立採算ということになっているので、非常に厳しい経営を強いられている現状。

○委員 それでも他市は経営できている理由は？

杵築市の料金が県で2番目に高いのはおかしいのでは？

他市は市の予算から補助金がたくさん出ているのでは？

そうであれば、杵築市は水道事業へ補助金を出さないのか？という話になると思うが、そこをもし市民に突っ込まれたときにうまく返答できない。

他市はどのように経営しているのか？

○事務局 赤字が多い事業体は今までの利益の積み上げがあってそれを補てんしていると思われる。おそらく、そのままの経営していくといつかキャッシュがなくなるため、本来は利用者が多いときから適正水道料金で改定して利益を積み上げていくのが安定的な経営手法であった。

水道料金を安くぎりぎりで抑えていたため、今後の人材の確保や水道管更新などの設備更新費用などの将来設計を考えた際に、4年に1回の料金改定のために審議会を開かざるをえないような経営状況になっている。

あとは経営状況が厳しくなった一因は簡易水道統合で、統合しないと国が補助金の対象外とする措置を実施することから統合した。簡易水道の赤字補てん分については、毎年、市の財政課と交渉し繰入金を確保している状況。

4. 諮問事項 杵築市水道ビジョンの改定について

- 委員 今回の変更で特に強調すべき点や大きく変えた点はどこか？
- 事務局 人口減少に伴って給水収益、水道料金が下がるということを具体的に明記した。
危機管理体制について災害に対する視点で水道施設の強靱化を盛り込んだ。
全ての施設を耐震化するには難しいため、病院や学校などの大災害時に避難所になるような施設に接続している管を優先的に耐震化するよう明記した。
- 委員 11 ページの平均残留塩素濃度は基準値である 0.1mg/ℓ 満たしており、と書いているがそれだけでは下の表を見たときに数値が上か下どっちが良いかわからないため、もっと分かりやすく書いた方が良いのでは？
- 事務局 0.1mg/ℓ 以上が基準であるため、「以上」を入れたほうが良いというご意見のとおりに修正します。
- 委員 記載するのは塩素濃度だけなのか？フッ素濃度の異常などニュースで問題の他の数値は気にしなくてよいのか？
- 事務局 水質基準検査項目は 51 項目あり、当然基準を満たしている水となるよう浄水処理を行っている。浄水処理の中で努力して削減できる場所、努力しても落とせないものがあるが、そのうちの努力部分について追加できるものを次回提案します。
- 委員 3 ページの下、4 ページのビジョン策定スケジュール。来年 1 月パブコメ、3 月策定だが、策定年度まるまるないがよいのか？
- 事務局 目標は令和 8 年 3 月策定のため、令和 7 年度策定ということにしている。
特にいつまで策定といった縛りがないので令和 8 年度策定でも構わない。
- 事務局 水道ビジョン（案）について、一度持ち帰って頂いてから意見を頂きたい。
意見集約方法については、今日から 1 週間程度の期間を設けて F A X やメールにて集約したい。
次回の審議会では意見集約後の修正案を提示し、その内容を審議して頂きたい。
- 各委員 意見集約方法、次回審議内容について異議なし。

5. 連絡事項

今後のスケジュールについて

事務局から次回は 11 月下旬開催予定、日程調整は別途メールで行うことを説明。

6. その他

事務局から下水道の経営戦略について説明し、質疑等なし。